

(学校番号 67)

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮別所小学校】

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題>国語科の「読むこと」、算数科の「データの活用」の正答率が低い傾向が見られた。 <指導上の課題>繰り返し学習を行うなどの学習習慣の定着に差が見られ、その結果知識・技能の定着に差が見られる。	⇒ ICTを活用し、児童データを収集・活用し、児童に応じた指導ができるよう指導の見直しを行う。【月1回実施】指導と評価の一体化を図ることにより、個に応じた指導を充実させていく。【市学習状況調査「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」において肯定的回答が90%以上】家庭との連携を密にし、学習習慣の定着を図る。【市学習状況調査「】の肯定的な回答が90%以上】
思考・判断・表現	<学習上の課題>どの学年においても「思考・判断・表現」の正答率が低い傾向が見られた。 <指導上の課題>自己の考えを言葉で表現することに苦手意識をもっている児童が多い。	⇒ 各教科の授業で、根拠資料を基に、自己の考えをまとめる活動を引き続き行っていく。【市学習状況調査「これまでの授業は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」において肯定的回答が90%以上、学校課題研修アンケート「自身の考えを言葉で表現することができる」において肯定的な回答を80%以上。】根拠と結び付けて自分の考えを表現できるようより重点的に指導を行っていく。【市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」において肯定的回答が90%以上】

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	算数の「A数と計算」の2数の関係の数式化、「C変化と関係」の速さの公式を扱う問題に課題が見られた。公式は理解しているのだが、その結果求められた解のもつ意味の理解が不十分であった。
思考・判断・表現	国語の「A話すこと・聞くこと」の問題文やメモを読みとり、工夫や効果を読み取る問題に課題が見られた。問題類型を見ると、メモの内容はおおよそ理解できているのだが、細かな読みとりが不十分、問題文の語句の意味の読みとりが不十分であると考えられる。また、無回答率がやや高く、題意を捉えることができなかった児童が一定数いるものと考えられる。

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	スクールダッシュボードを用い、授業の振り返りを行うことができた。今後収集されたデータを収集・分析を行い、授業展開や個に応じた指導に生かしていく。また、学習に繰り返し粘り強く姿勢は引き続き課題が見られる。	
思考・判断・表現	B	校内研修を実施し、授業の流れを確認した。自己の考えをまとめる場面を設定した授業展開を各クラス・各教科で実施することができている。	複数の条件を基にして、根拠を明らかにしながら自分の言葉で表現できるようにする。また、教員が見取りをしっかりと行う授業を繰り返し行う。

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

※評価  
 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)